



炎天下 行進は岡山市から一路早島へ



平和行進岡山県内行進第5日目、岡山市内最後の行進です。出発は市内下石井公園です。(岡山市庁舎改築工事のため)岡山市保健福祉局の藤井次長ら3人が市長メッセージを持って参加されました。メッセージでは「岡山市は1985年に平和年宣言、1989年には6月29日を岡山市平和の日と定め、追悼をしている。平和の聲が広がることを願っている」と述べています。

県実行委鷲尾代表は「コロナもあってリアルとSNSを使ったハイブリッド方式で多くの方が行進に参加している。核禁条約批准国も66に拡大、これを確信に頑張りましょう」と参加者を励ました。

参加者50人はこの日の目的地点COOP大福店を目指し炎天下の中を元気に出発しました。



写真上・次の目的地早島に向け行進する参加者。写真左・炎天下を行進するみなさんに、と岡山医療生協支部からスイカ、トマト、飲み物が差し入れされました。写真右・COOP大福の皆さんが行進団を出迎えて下しました。横断幕を持って「一歩」歩きました。



児島・網の目行進

18日に50人で実施

児島の網の目行進は毎年「海の日」に実施することが慣例。今年も7月18日に50人が参加して行われました。午前10時から始まった倉敷市児島支所前の出発集会では医療生協の中村理事さんがあいさつ。その後参加者は児島市内約2Kmを核兵器廃絶をアピールしながら行進しました。途中2人の子どもが飛び入り参加して行進を和ませました。(写真左児島網の目)